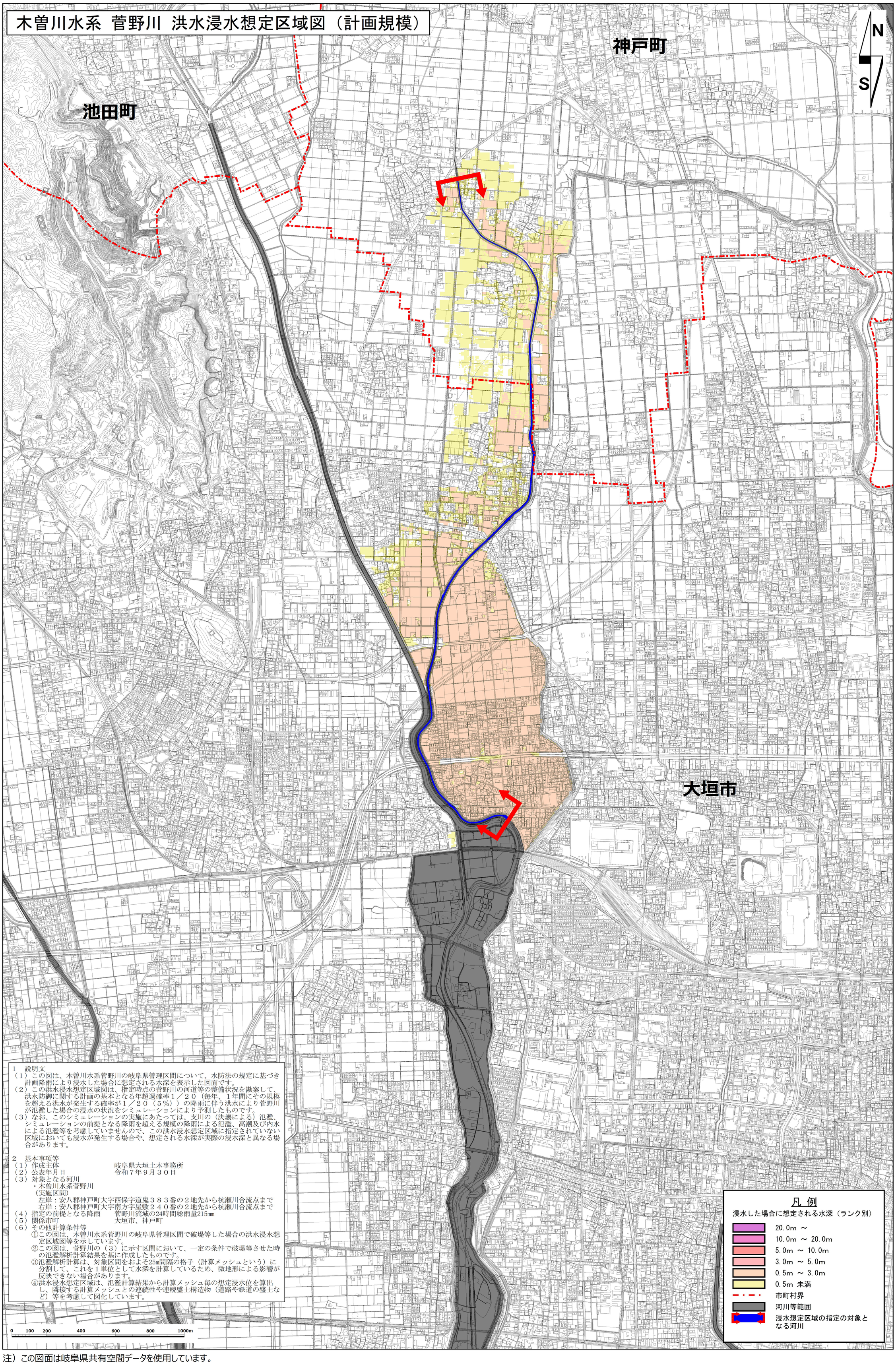
木曽川水系 菅野川 洪水浸水想定区域図（計画規模）



1　説明文

（1）この図は、木曽川水系菅野川の岐阜県管理区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、指定時点の菅野川の河道等の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１／２０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／２０（５％））の降雨に伴う洪水により菅野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　岐阜県大垣土木事務所

（2）公表年月日　令和７年９月３０日

（3）対象となる河川

・木曽川水系菅野川

（実施区間）

左岸：安八郡神戸町大字西保字道鬼３８３番の２地先から杭瀬川合流点まで

右岸：安八郡神戸町大字南方字屋敷２４０番の２地先から杭瀬川合流点まで

（4）指定の前提となる降雨　菅野川流域の24時間総雨量215㎜

（5）関係市町　大垣市、神戸町

（6）その他計算条件等

①この図は、木曽川水系菅野川の岐阜県管理区間で破堤等した場合の洪水浸水想定区域図等を示しています。

②この図は、菅野川の（3）に示す区間において、一定の条件で破堤等させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③氾濫解析計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

凡 例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 20.0m ～
- 10.0m ～ 20.0m
- 5.0m ～ 10.0m
- 3.0m ～ 5.0m
- 0.5m ～ 3.0m
- 0.5m 未満
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川

注）この図面は岐阜県共有空間データを使用しています。